物理チャレンジ

8月19日～22日に物理チャレンジ（兼国際物理オリンピック国内予選）の第2チャレンジが行われました。1851名のうち実験課題と理論課題によって選ばれた約100名が参加しました。今年は、2名が第2チャレンジに進み、そのうちの6年生1名が銅賞という優れた成績を残しました。第1チャレンジの実験課題においても、実験優良賞を獲得しています。物理チャレンジの実験課題は1月7日発表されます。ぜひ次回はみなさんもチャレンジしてみてはいかがでしょうか。

日本生物化学オリンピック

7月17日に日本生物化学オリンピックの予選が行われました。予選参加者は3469名中上位80名が本選に進むことができます。本校からは13名の生徒が参加し、そのうち6年生の男子2名が、8月19日～22日の4日間、筑波大学で行われた本選に進みました。結果は、同様に数観賞を受賞し優秀賞しました。来年も、我々はこの世紀の数少ない生徒の挑戦に期待しています。

化学グランプリ

7月18日に化学グランプリが行われ、本校からは10名の生徒が参加しました。本年度は3793名の参加生徒のうち78名が各大学で開催された本選に出場し本校の6年生1名が、国際化学オリンピックの予選となる本選に進出され、みごと金賞という成績がありました。

東工大高校生のための先端技術フォーラム

6月15日に東京工業大学に通学生を対象に、第4回東京工業大学 高校生のための先端科学・技術フォーラムが開催されました。本校からは20名の生徒が参加しました。東京都立工業大学工学部機械系教授の松村三郎先生に、宇宙開発の新しい競争・新型技術の挑戦という題目で講演をいただきました。参加生徒からは松村先生や大学院生への質問コーナーがありました。質問に答えることに講演者会は終了しました。講演者は講演の内容に詳しく詳しく解説いたしました。

中学生科学コンテスト

8月28日に東京都立工業高等学校附属中学校で中学生科学コンテストが開催されました。今年は都内より161チームが参加し、本校からは3チーム12年生9名3名×3チームが参加しました。筆記と実技の問題に精一杯取り組みました。

創造性の育成塾

全国中学生2年生が40人選抜され、ノーベル賞受賞者の絶れた科学者や研究者の研究動向を講演に臨まれ、7月28日～8月4日の8日間、静岡県三島市で理科教室が行われました。本校からは2名が塾生として選抜され、全国の理科好きの参加者とともに貴重な体験ができました。

今後の予定

平成29年10月15日 小学生理科実験教室
平成29年11月13日 高生科学の祭典 科学の子街東京大学（本校会場）
平成29年11月19日 SSH校内生徒研究成果発表会
平成29年12月16日 第4回小石川セミナー 講師藤崎昭（東京理科大学教頭 諸相淑子の研究）
平成29年12月23日 SSH東京都立中等教育学校（島根県立中学校白鳥キャンパス）

SSH だより 第21号
平成28年9月30日 発行
東京都立小石川中等教育学校
〒113-0021 東京都文京区本町1-29-29
電話03(3946-7171) http://www.koishikawa-chuo.e-metro.tokyo.jp/
全国SSH生徒研究発表会

8月10日、11日に神戸国際展示場にて全国SSH生徒研究発表会が開催されました。この発表会は、全国のSSH指定校の生徒が全国の研究の成果を発表することを通じて、学業による交流の場をとることをねらいとしています。各校からは多数の生徒が参加し、「生物環境の創造」に取り組む多くの研究が発表されました。特に、アビダルタイムでの調査、発表は多くの人々が参加することがありました。

SSHオーストラリア理数系授業参加プログラム

8月7日～20日に南オーストラリア州アデレードにあるグレンガインインターナショナルハイスクール（GIS）で理数系授業参加プログラムを実施しました。このプログラムはインターラクティブ（IB）ディプロマコースで、理数系の授業を中心に現地のIBコースの生徒とともに授業に参加するプログラムです。今回は4年生10名が参加しました。南オーストラリア教育省、GISと本校が協力してプログラムの内容を企画しています。GISの生徒にスケールバリエが4～6名となっており、GIS生徒との深い関わりを通してリーダーとしての意識も向上しました。そのほかに、アデレード大学での実習や南オーストラリア大学のブラナバリウム大学の大学の研究者の講義にも参加しました。

ソニガボールフローラルリンク

7月23日～25日、ソニガボール国立大学を会場として行われたソニガボールフローラルリンク2016に本校の6年生10名と5年生1名が参加しました。参加したのは、アジア太平洋を中心とする6つの国や地域（日本、ソニガボール、マレーシア、タイ、インドネシア、台湾）から27校、82名の中学生で、科学や自然環境に関する調査や研究活動を英語を使って発表しました。ソニガボールフローラルリンクは、生徒が行った調査研究を、海外において英語で研究交流することで、グローバルな視点をもとリーダー育成を目指しています。参加した2名は、学校設定科目「課題研究」小石川フローラリーやオープンラボでの研究成果が高く評価され、校内選考で今回の参加が決定しました。

第1回小石川セミナー

7月11日に新幹線の開業やアメリカでの起業に自力で成功している、スピノザ・ファーマーシューティカル社社長 久保田氏（アメリカ在住）をお招きし、小石川セミナーを開催しました。京都大学工学部で学び、科学者を目指していた久保田氏が、どうして起業することになったのか、そしてアメリカで成功することになったのかなどの実践的なお話がありました。

第1回サイエンスカフェ「深海の神秘」

5月9日、東京大学海洋アリーナ及び養成団体ブルークス編集部の協力を得て、東京大学海洋研究所海洋化学部門教授 渡辺俊敏氏をお招きし、サイエンスカフェを開催しました。参加者数は70名で、大会で保護者も10名を超える参加がありました。深海の深さを含む、三つの講義は非常に精力的に話され、深海の魅力を伝えるものであったと番組内で報告がありました。講義後も活発に行われました。